

株式会社レゾナック・ホールディングス  
〒105-7325 東京都港区東新橋 1-9-1  
2026年6月2日

## 滋賀大学と株式会社レゾナック、 データサイエンス分野に関する連携協定を締結 ～産学連携で、人材育成、課題解決に資する解析技術構築を推進～

株式会社レゾナック（代表取締役社長 CEO：高橋 秀仁、以下、当社）および、国立大学法人滋賀大学（学長：竹村 彰通、以下、滋賀大学）は、データサイエンス分野の技術力向上および人材育成を目的として、2026年5月28日に連携・協力に関する協定を締結しました。



写真左より滋賀大学 竹村彰通学長、当社 CTO 福島正人

滋賀大学は、2017年に日本で初めてのデータサイエンス学部を設置した大学で、一流の研究者や実務家による指導体制を強みとしています。当社は、昭和電工時代の2011年よりシミュレーションを中心とした、計算科学の専門組織を設立しております。2016年からは、AI・MI（マテリアルインフォマティクス）などの情報科学の研究・開発支援体制を構築しました。現在、計算情報科学研究センターとして、半導体向けを中心とした材料開発の加速に貢献しています。

本協定では、当社の有する豊富な現場実績に裏打ちされたデータや技術基盤と、滋賀大学の先進的なデータサイエンスに関する知見や教育実績を融合し、データサイエンス分野における人材育成と課題解決に資する解析技術の構築を目指します。また、両者の連携拠点となる調査研究センターの設置等を含め、連携の可能性を広く検討します。

当社は、研究員として実験研究における高度な専門性を有しつつ、データ解析などの計算・情報科学スキルを併せて持つ人材を「両利き人材」と定義しており、この両利き人材を2030年までに100%化することを目標としています。社外との共創も通じて、計算・情報科学を空気のように活用できる人材の育成に取り組んでまいります。

以上

#### 【Resonac（レゾナック）について】

レゾナックは、半導体・電子材料、モビリティ、イノベーション材料、ケミカル等を展開し、川中から川下まで幅広い素材・先端材料テクノロジーを持つ機能性化学メーカーです。2023年1月に昭和電工と旧日立化成が統合し、誕生しました。社名の「Resonac」は、英語の「RESONATE：共鳴する・響き渡る」と、Chemistryの「C」の組み合わせです。レゾナックは「共創型化学会社」として、共創を通じて持続的な成長と企業価値の向上を目指しています。

2025年度の売上高は約1兆3千億円、うち海外売上高が57%を占め、20以上の国や地域にある製造・販売拠点でグローバルに事業を展開しています(2026年1月時点)。詳しくはウェブサイトをご覧ください。

株式会社レゾナック・ホールディングス <https://www.resonac.com/jp/>

#### ◆ 本件に関するお問い合わせ先

株式会社レゾナック・ホールディングス

ブランド・コミュニケーション部 メディアリレーショングループ

メール：[pr\\_med@resonac.com](mailto:pr_med@resonac.com)